

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	武雄市立朝日小学校
1 前年度 評価結果の概要	・教育目標達成のために、「静」の時間を教育活動に据え、授業開始前の立腰、集中して話を聞く、無言掃除等、全職員が同じベクトルで指導を行うことができたことで、基礎学力の定着や授業力の向上、心の教育面で一定の成果が出た。また、電子黒板での授業やプログラミング学習等、ICT機器の効果的な活用を図ることができた。花まるタイムや田植えなど地域の方々の協力のおかげで、地域と連携した教育活動を実施することができた。今後も地域人材を発掘し、教育課程に効果的に位置づけ、充実を図っていききたい。 ・行事の抱き合わせや精選、内容の削減を図ったことで、職員の時間外勤務は長くはなかった。しかし、業務内容については、あまり削減されていないので、多忙感の減少までは至っていないのが実情である。今後も効率的な働き方について見直しを図っていききたい。

2 学校教育目標	ふるさと朝日を愛し、自ら学び考え行動する児童の育成
----------	---------------------------

3 本年度の重点目標	①基礎的・基本的学力の定着と自ら学ぶ力の育成 ②自分で考え行動する主体性の伸長 ③保護者・地域と共に創る学校づくり
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上		・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。(主体的に学ぶ授業づくり・ICT利活用・家庭学習の充実) ・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえた授業の振り返りと改善を図る。		・		・	・学力向上対策コーディネーター ・研究主任		
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートや授業の振り返りにおいて肯定的な回答をした児童が80%以上		・人権集会や道徳科の内容の充実、アンケートや振り返りの実施 ・ふれあい道徳や親子体験活動を年1回以上行い、家庭との連携を図る。 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施		・		・	・道徳教育推進教員 ・人権・同和教育担当者		
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教職員80%以上		・いじめの対応についての研修・会議を年間に2回以上行い、認知・覚知に対する対応マニュアルの作成・見直しを行う。 ・アンケートや教育相談を年間3回以上実施し、早期発見につなげる。適宜いじめ対策委員会を開催し、情報共有と組織力での解決を図る。		・		・	・生徒指導部		
	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童(小学6年生)80%以上		・学級活動、学校行事等において、児童が主体的に取り組む工夫を行う。 ・様々な体験活動で、児童に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。(キャリアパスポートの活用)		・		・	・	・教務主任 ・特活部	
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童60%以上		・児童と運動のかかわりを深める体育科」学習の充実と外遊びの奨励 ・毎週金曜日昼休みのダンスタイムの実施 ・委員会活動によるスポーツチャレンジの実施と学級での取り組みの充実		・		・	・保体部		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。		・定時退勤日の設定と徹底 ・学校閉庁日設定による休暇取得の促進 ・業務内容精選についての会議の実施		・		・	・管理職		
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上		・特別支援に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、情報共有の場の設定、組織としての対応		・		・	・特別支援教育コーディネーター		
○愛郷心の育成	○地域を生かした体験活動の充実	○朝日のよさを知り、伝えたいと思う児童の割合80%以上		・生活科・総合的な学習の時間で、地域(ひと・もの・こと)を学ぶ場を設定する。 ・地域との連携・交流を生かした活動の実施		・		・	・教務主任 ・各学年主任		

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------